

## 令和2年 年頭のごあいさつ

市民の皆様、あけましておめでとうございます。令和2年の輝かしい新春をすこやかに希望に満ちてお迎えになられたことと思います。謹んで皆様にお慶びを申し上げます。

昨年は、5月、元号が平成から令和に代わる大きな節目を迎えた年でした。令和には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味も込められています。

昨年11月30日から12月15日まで、大柿地区歴史資料館で、我が郷土が生んだ偉大な囲碁棋士、瀬越憲作名誉九段の功績をたどる展示会を開催しました。その際、瀬越名誉九段の弟子で本市出身の三王裕孝九段に記念講演をしていただきました。「大森らんさんは江田島市で5人目のプロ棋士。瀬戸内海の島々は昔から囲碁が盛んだが、瀬戸内の囲碁の歴史、ここ200年の間で、他の島のプロ棋士は1人、5人も輩出させている島は他にはない。大森らんさんのプロ棋士誕生は、まさに江田島市に舞い降りた天女だ」とのお話がありました。さらに、昨年第40回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会で優勝した能美中学校の武島蓮さんにも、激励のお言葉をいただきました。先人の皆様の囲碁にかける情熱と本市に脈々と流れる囲碁の遺伝子がこの5人の棋士を生んだのだと思います。そうした歴史を紡ぐ糸に、文化に感謝したいと思います。

昨年は、山火事はありましたが、自然災害による被害は少なく、交通死亡事故もゼロ、幸いにして、穏やかな年でした。

「平成30年7月豪雨」により、甚大な被害を受け、市民の皆様には、本当に御心労、御心配をおかけしていることを申し訳なく思っています。現在、復旧に向け、全職員一丸となって取り組んでいます。災害復旧箇所数702箇所、総事業費約26億5千万円、3月末までに事業費ベースで40%の進捗、残り60%は令和2年度事業となり、何とせよ完了させなければなりません。今後とも、御協力、御支援賜りますようお願い申し上げます。

江田島市は、平成16年11月1日に4町が大同団結をし、誕生しました。丸15年を経て、16年目を迎えています。

私は、第3代江田島市長として、平成28年12月5日から市政を担わせていただいております。任期最後の年を迎えています。

この3年間は、職員とともに、市民の皆様への感謝の気持ちと、江田島市を愛する気持ち、江田島市をよりいいまちにしたいとの気持ちで取り組んできま

した。

①しごとの創出，②子育てしやすい環境づくり，③健康寿命の延伸——という3つのテーマを重点的に推し進めています。

一つ目がしごとの創出，長瀬海岸地先の新ホテル建設も，3月頃には具体的な整備に着手します。温泉も活用した，市民の皆様が楽しめる露天風呂も併設されます。これによって，新たな雇用や地元への地産地消も具体化していきます。

さらに，平成24年度から実施している体験型修学旅行・民泊事業も受入家庭の皆様のご協力によって，本年中には，累計で1万5千人を突破するという，明るい見通しもあります。

次に，子育てしやすい環境づくりでは，認定こども園の整備や子育て世代包括支援センター，病児・病後児保育室わかばのオープン，大柿高校存続に向けた支援の拡充など，積極的に取り組んでいます。

三つ目が健康寿命の延伸です。高齢者の方には元気に長生き，健康寿命を延ばしていただくということで，いきいき百歳体操や健康づくり教室，ふれあいサロンなど積極的に取り組んでいます。

さらに，江田島市の魅力アップ，知名度を上げる取り組み。その一つとして，オリーブについては，平成22年度から官民一体となって新たな島の特産品となるよう栽培に力を入れており，10年目を迎えています。オリーブを植栽し，耕作放棄地を解消，その結果，山や海がきれいになり，瀬戸内海がかつての豊かさを取り戻すことができるようにすること，このことがオリーブに力を入れる目的です。市民の皆様や事業者の取り組みによって，「江田島市＝オリーブの島」というイメージが少しずつ定着してきています。

オリーブの花言葉は，「平和，勝利，知恵，やすらぎ」と，いずれも前向きですてきな言葉ばかりです。この花言葉が，江田島市を表す言葉になるよう，オリーブの振興とともに歩んでいきたいと強く念じています。

10年前に出会った道歌。「あれを見よ深山の桜 咲きにけり 真心尽くせ人知らずとも」(詠み人知らず)この歌は，人としての生き方，人生の心構えであると強く感じた歌です。「山の奥深くに咲いた桜のように，誰が見てくれようとかくれなれようと，懸命に与えられた命を全うして咲いている，ただただ、真心を尽くしていく」という生き方を示してくれる素晴らしい道歌です。

このような生き方を全職員一丸となって，「市民の皆様の喜びを増やし，悲しみを減ずる」このことを目指して，初心を忘れず，市民の皆様のために，喜ん

で進んで働かせていただききたいと念じています。

結びに、本年、令和2年が大きな災害や事故に見舞われることのない年であり  
ますこと、皆様にとりまして、幸多き年となりますこと、心から祈念いたしま  
す。

江田島市長 明岳 周作